

平成29年度職員学校評価(1学期・2学期)

3.5以上 ○ 3.0未満 ▲

NO	主な取組み	1学期	2学期
1	「子どもが主役の学校」になっている。	3.5	3.5
2	「感動のある学校」になっている。	3.5	3.4
3	「到達目標のある学校」になっている。	3.4	3.3
4	思いやりをもつ子どもたちである。	3.2	3.2
5	共に考えることのできる子どもたちである	3.0	3.1
6	進んで活動する子どもたちである。	3.2	3.2
7	教育目標や学校経営の重点が共通理解され実践されている。	3.2	3.3
8	分掌組織がうまく機能し、責任ある運営が協働でなされている。	2.9	3.2
9	学校経営に積極的に参画している。	3.1	3.3
10	会計処理が適切に効率よく進められている。	3.8	3.6
11	校舎内外の環境・諸施設・設備は児童の活動に適するように整備されている。	3.3	3.3
12	避難訓練などの改善を行い自らがよく考えて行動できている。	3.5	3.4
13	教科の進度は計画どおりであり、時数は確保されている。	3.3	3.4
14	学校行事や学年行事がねらいを踏まえて改善が図られている。	3.3	3.4
15	道徳の時間を確保し体験活動と関連を図ってすすめている。	3.1	3.0
16	総合的な学習の時間は計画的に進められ、魅力あるプログラムになっている。	3.2	3.0
17	児童の健康管理や安全に関する指導が適切に行われている。	3.3	3.3
18	食に関する児童の意識が高まっている。	2.9	3.0
19	開始時刻と同時に授業がスタートしている。	3.3	3.4
20	授業研究が実践的で授業改善に資するものになっている。	3.2	3.3
21	自信を持って臨める授業づくりをしている。	3.2	3.1
22	授業で子どもたちが理由をはっきり述べるができる。	3.0	3.1
23	聞き方や話し方などの学習習慣が徹底されている。	2.8	2.8
24	対話や討論のある授業づくりをしている。	3.2	3.0
25	学習リーダーを育てようとしている。	2.8	2.9
26	学習が遅れてがちな子どもへの支援を行っている。	3.1	3.2
27	特別な教育的支援を必要とする子どもへの支援が、適切・有効に行われている。	3.3	3.0
28	読書の時間を確保している。	2.4	3.1
29	図書館を積極的に活用している。	2.3	2.6
30	一人一人とよく対話をし児童理解に努めている。	3.3	3.3
31	問題行動に迅速に対応している。	3.3	3.5
32	きまりを守り、相手を思いやる言葉遣いができる。	3.1	3.1
33	自分からあいさつができる。	2.5	3.0
34	いじめ防止について予防や早期対応が図られている。	3.3	3.3
35	校内外における事故防止や子どもの安全意識が高まってきている。	3.1	3.2
36	互いの人格を認め合い、協力したり助けあったりする学級作りに努めている。	3.1	3.4
37	学級会などでの話し合いが積極的に行われている。	3.1	3.2
38	委員会活動では具体的な目標を設定して活動している。	3.2	3.3
39	縦割り活動は清掃などよく協力して行われている。	3.2	3.3
40	担任不在でも1日の進行ができる。	2.9	2.9
41	学校(学級)は経営方針や情報を積極的に地域や保護者に伝えている。	3.5	3.8
42	学校は、地域の人材や施設などを効果的に活用している。	3.5	3.4
43	学校は、さくらサポートや警察、消防署等の関係機関とよく連携・協力している。	3.5	3.6
44	平成30年度開校に向け教職員の意識の高揚や準備が進んでいる。	2.9	3.2
45	地域、保護者、児童に小中一貫教育についての理解が深まっている。	2.8	3.2
46	こどもセンターとの連携交流が効果的なものになっている。	3.2	3.2